

NETIS登録番号	技術名称	DRIM工法				
QSK-130005-A	副題	歪み砂れんマット(Distorted Ripple Mat)工法				
分類1	港湾	港湾海岸	空港	その他	キーワード: 環境、コスト削減・生産性の向上、景観	
分類2						
開発目標	経済性の向上、周辺環境への影響抑制、地球環境への影響抑制					
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術					
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (特許番号: 第3333431号) <input type="checkbox"/> なし					
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明					
問合せ先	会社名	水工技研株式会社			TEL	092-472-2734
	住所	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目6-28			E-MAIL	info@suikougiken.co.jp
	担当者	児島 和之				
実績件数 H25.4.1現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等	
	1件		2件		1件	

技術概要: (300字以内)

DRIMは、上面が歪んだ波形を有し、平面的に可撓連結した極低天端なコンクリートブロック群を海底に一定の範囲で設置することで、自然界の波浪による波動運動エネルギーを利用して岸向きの底層流及び漂砂を発生させて、岸側の海浜に砂を供給し、海浜を積極的に増大する技術



ドリム工法の構造

新規性及び期待される効果

①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)

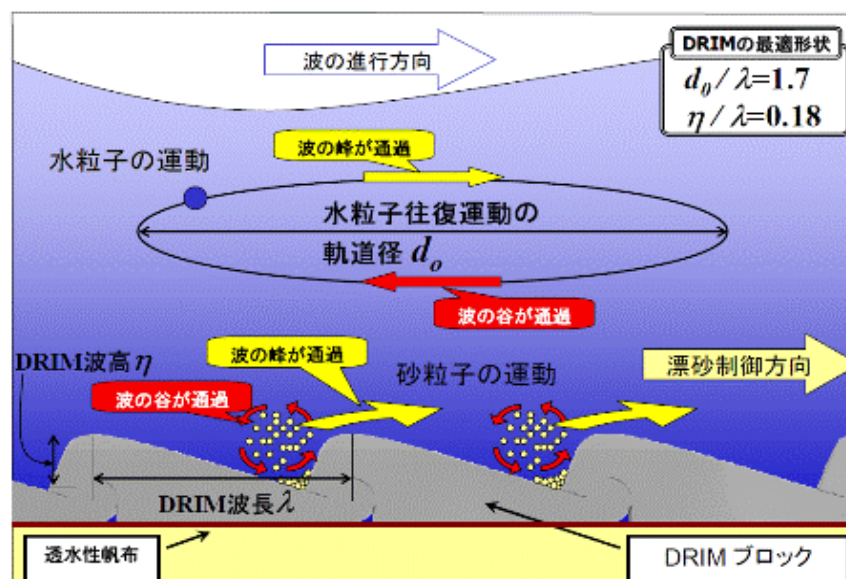
- ・人エリーフのように波浪を消波、減衰させて漂砂を制御するのではなく、波浪による波動運動エネルギーを利用して漂砂を一方向に制御する。
- ・海底面からの高さ50cm程度の極低天端潜堤であり、海底面に直にコンクリートブロック製の歪んだ砂れんを設置することにより漂砂制御効果を発揮する。

②期待される効果は?(新技术活用のメリットは?)

- ・DRIMを構成するブロックはコンクリート二次製品工場で作製されるため、製作工程の短縮、品質管理の向上が可能となる。
- ・極低天端のコンクリートブロック群を海底に設置するだけなので、全体工期の短縮、工事費の削減が可能となる。
- ・海岸防災は、保全、利用、環境の3つの観点から取り組みが求められているが、これらのトリレンマ問題を低コストで解決できる工法は未だ無く、DRIM工法を活用した侵食、高潮対策は、トリレンマ問題を解決できる可能性がある。

③その他

- ・海ガメが産卵のために海域移動する際の障害とならない。
- ・DRIMと養浜工を併用することにより、養浜砂が沖側へ流出するのを防止し、より一層の海浜の保全が図れる。



DRIMの漂砂制御原理